

クラス NO	503	担当教員	遠藤 秀紀
テーマ	経済学と都市		
著書・論文 研究課題等	著書・論文 研究課題等: [論文]「東京大都市圏の職業と所得の分布」(共著)、『応用地域学研究』第4号、1999年「家族の同居・別居選択と訪問介護サービス需要」(共著)、『季刊社会保障研究』第37巻第3号、2001年 「日本の都市圏に関する一考察」(単著)、『日本福祉大学経済論集』第24号、2002年 「医療サービス需要と健康状態、介護サービス需要の関係について」(単著)、『日本福祉大学経済論集』第31号、2005年 「大学教育と進路—大学教育の満足度に関するアンケート調査より」(共著)、『日本福祉大学経済論集』第34号、2006年		

ゼミ概要
<p>① 内容・方法</p> <p>【内容】 生まれた場所の20年前と今を比べてみましょう。「変わったな」と感じる人、「何も変わっていない」と感じる人、その原因はどこにあるのでしょうか?街並みが変わるのも変わらない(変われない)のも、それなりの理由があるはずです。 また、街並みが変わったからといって、必ずしも生活環境のすべてがよくなるとは限りません。地域は活性化したが治安は悪化したとか、都心部への交通の便はよくなったがラッシュアワーの混雑はひどくなったとか、企業を誘致して経済基盤を安定させたところが公害に悩まされるとか……難しい問題です。 このゼミでは、都市の社会環境がどのような活動に影響を受けて変化するのか、また、変化した先にはどんな楽しみと厄介ごとが待っているのか、経済学の視点から考える力を養いたいと思います。そして、考えたことが現実的であるかどうか、統計データとパソコンを用いて検証する技術も培ってもらおうと思います。</p> <p>【方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) テキストによる基礎知識の取得 (2) 都市の環境変化の要因を検討 (3) 情報収集と実証(考察した要因が妥当であるかどうか、データを収集して実証) (4) 成果物(レポートなど)の作成 <p>② 履修上の注意</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)成績評価は「出席状況+履修姿勢」で行います。理由の不明確な欠席には高いマイナス評価をつけます。 (2)ゼミナール希望票の「自由記入欄」を半分以上埋めてみてください。題材は自由です。絵でも、文章でもかまいませんが丁寧に書いてください。また、読んだ人に不快感を与えるようなものや、どう見ても手抜きだとわかってしまうようなものは避けてください。 いまひとつ題材が思いつかない人は、下記の題材で記入してください。 <A>「愛知県知多郡美浜町」に対するイメージ 地元に対するイメージ <C>将来の進路 (3)作業の多くはグループで行います。 (4)成果物は確実に作り上げてもらいます。

テキスト
山崎福寿・浅田義久『都市経済学』日本評論社、2008年。
学生へのメッセージ
ほどよく努力できる人なら、ゼミの内容についてくることができると思いますよ。